



お知らせ

資 料	山口県政記者クラブ 山口県政記者会 山口県政滝町クラブ
提 供 先	防府記者クラブ 防府市政クラブ

夏休みを前に 水辺に危険がないか点検します

～佐波川で「安全利用点検」を行います～

山口河川国道事務所は、毎年、河川の水辺利用が増える夏休み前に、水辺の河川構造物に危険がないか、点検（安全利用点検）しています。
今年も、次のとおり点検を行いますのでお知らせします。

- 点検場所 一級河川佐波川水系佐波川
(詳細は別紙「安全利用点検箇所」のとおり)
- 点検日時 平成29年7月13日(木) 9時30分から2時間程度(小雨決行)
(雨天時予備日) 平成29年7月19日(水) 9時30分から
- 点検者 国土交通省職員、防災エキスパート、佐波川に学ぶ会(河川協力団体)、小野水辺の楽校空間利用を考える会、警察・消防職員、山口市及び防府市職員等(約20名程度の予定)
- 取材対応 取材を希望される方については、次のとおり対応いたします。
 - ① 集合日時 平成29年7月13日(木) 9時30分
 - ② 集合場所 国土交通省 佐波川出張所
(住所：防府市古祖原18-43)

■問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局 山口河川国道事務所

副所長(河川)

坂本 浩二
山崎 隆洋

(担当) 河川管理課長

電話番号

0835-22-1890(河川管理課直通)

【広報担当】計画課長

児玉 総一郎

★河川は、水辺空間としての親水・レクリエーション機能を持ち、誰もが自由に利用できる場となっています。このため、河川の利用が増える夏休みを前に、佐波川の水辺にある河川構造物について「安全利用点検※1」を行い、水辺に危険がなく安心して利用できる状態になっているか確認します。

★この「安全利用点検」は、国土交通省職員、防災エキスパート※2、佐波川で活動している河川協力団体である「佐波川に学ぶ会」、河川愛護活動を行っている「小野水辺の楽校 空間利用を考える会」等の団体、警察・消防職員及び親水施設の管理者である山口市・防府市職員の計20名程度で実施します。

※1安全利用点検とは

河川に整備した水辺の楽校等の通路、階段、高水敷や低水護岸等の陸上部(水際を含む)を対象として転落や落下、陥没や損傷部等へのはまり込み等の利用者に危険を生じさせる箇所がないかを重点的に点検するものです。特に夏休み前の点検は、水面を利用される観点から危険の有無を、重点的に点検します。

※2防災エキスパートとは

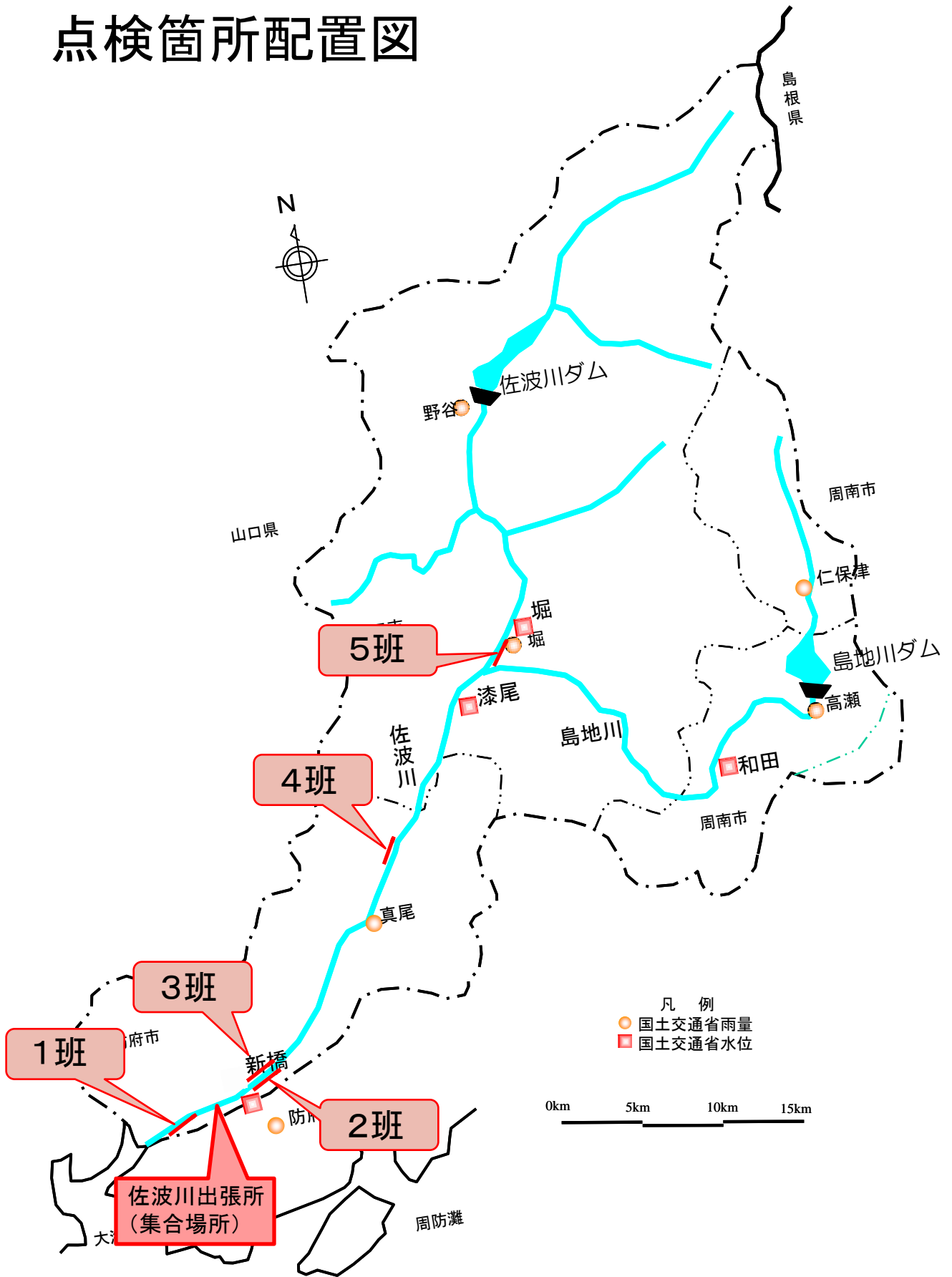
阪神・淡路大震災を契機に、災害時におけるボランティアの果たす役割の重要性が認識され、平成8年1月に公共土木施設等の被害情報の迅速な収集等をボランティアとして行う「防災エキスパート制度」が発足しました。

これまでに国の行政機関である地方整備局等において約5,500名が登録されているほか、地方公共団体においても制度が発足しています。

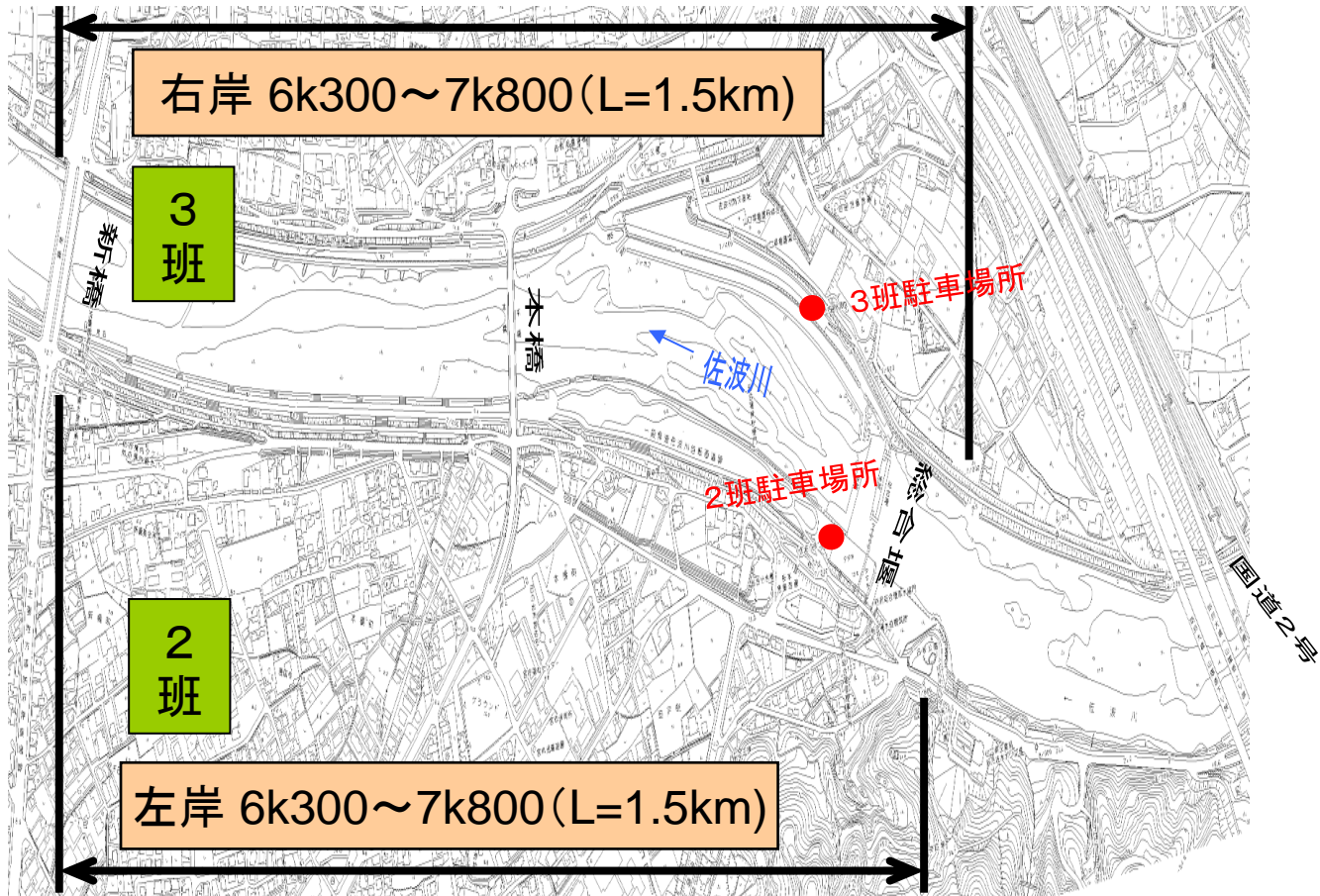
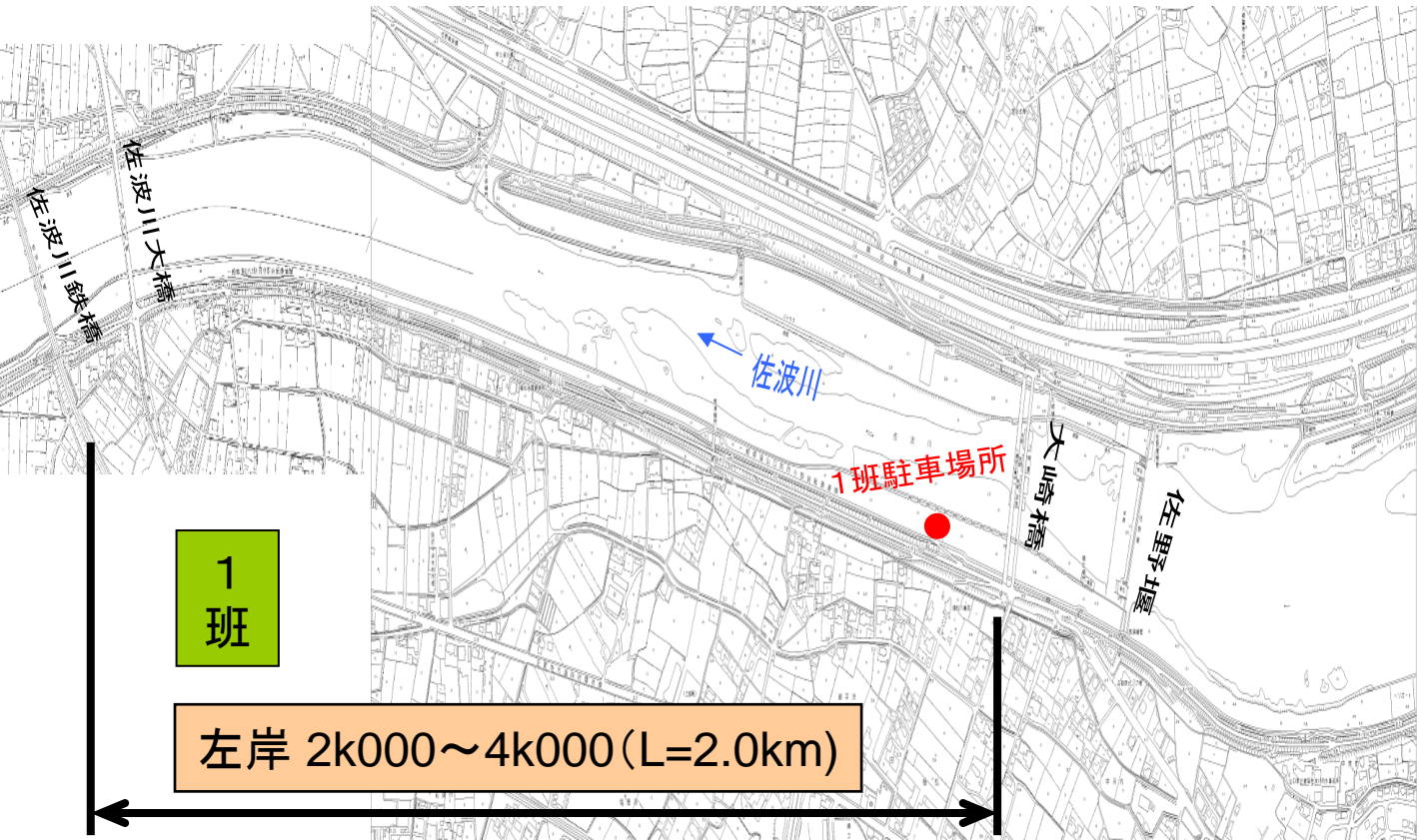
取材希望者の集合場所



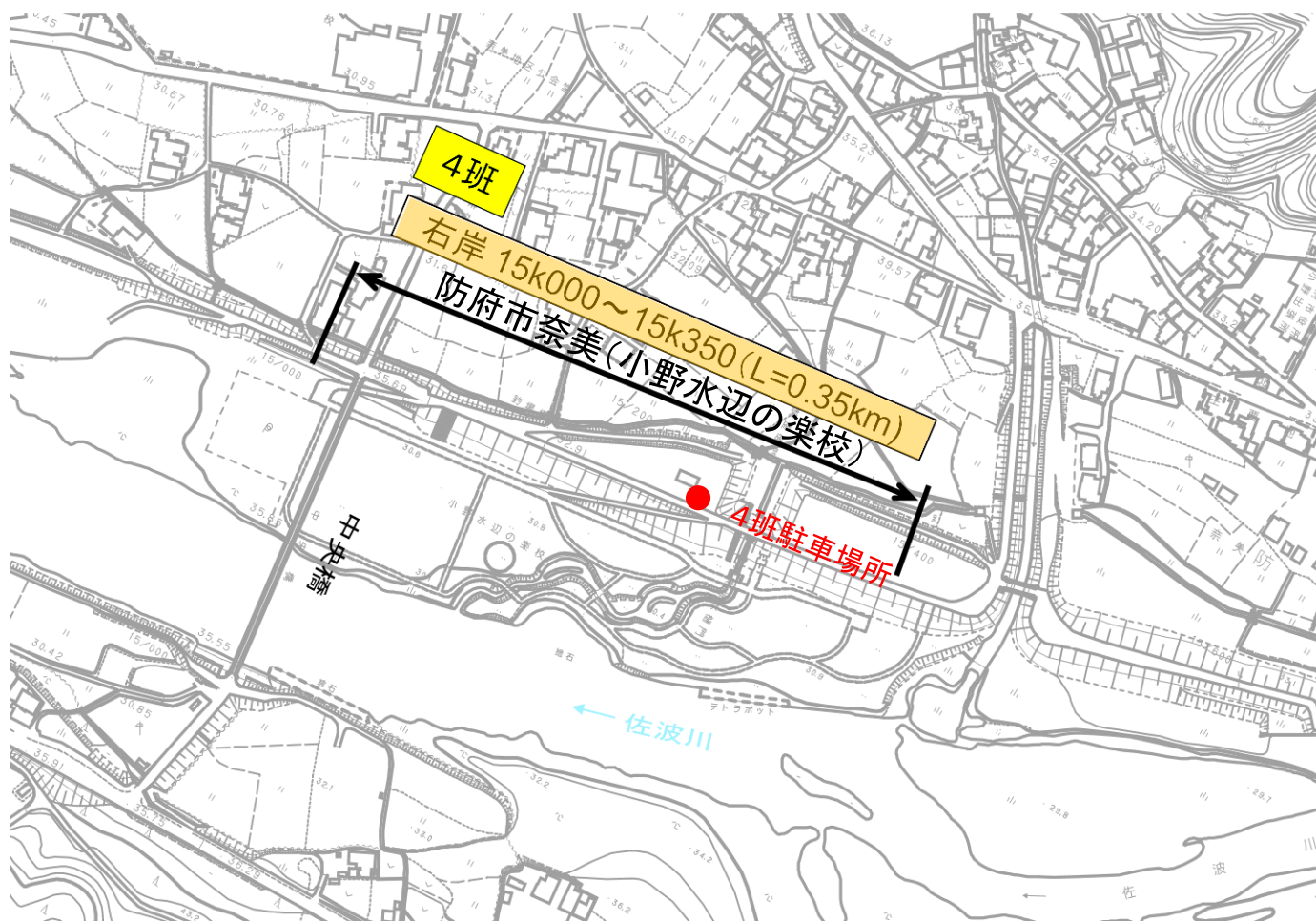
点検箇所配置図



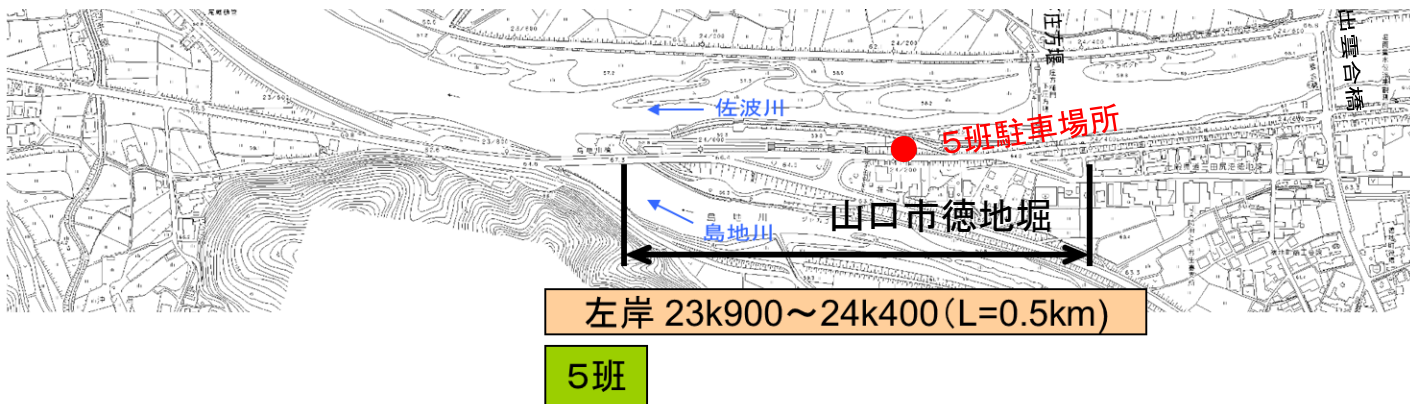
安全利用点検箇所(1~3班)



安全利用点検箇所(4班)



安全利用点検箇所(5班)



過去の点検及びその後の対応例

点検時の状況



緊急対策



護岸が水に浸かっている際に、段差が分かりづらいため、踏み外したり、滑り落ちるなどのおそれがありました。

マーカーで護岸の端部を着色し、視認性を向上させることによって、段差の位置を分かりやすくしました。

※写真は同じ場所ですが、水位が異なります（右側の方が水位が低くなっています）。